

CCS テクニカルワークショップ 2014

CCS TECHNICAL WORKSHOP 2014

CO₂貯留の環境影響評価に向けた取り組み

- 日 程** 平成27年1月30日 (金)
13:15-17:10 (受付開始12:30)
- 会 場** 第一ホテル東京 5F「ラ・ローズ」
東京都港区新橋1-2-6
- 定 員** 200名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- 言 語** 日本語、英語 同時通訳有り
- 参加費** 無料

ワークショップ終了後、意見交換会を実施します (会費3,000円)。

主 催 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE)

共 催 経済産業省 (METI)

お申し込み・お問合せ先

■申込方法

下記の参加申込記載事項を記入の上、ccs2014@rite.or.jp までお申し込みください。

参加申込み記載事項

- ①お名前 (漢字) :
- ②お名前 (かな) :
- ③会社名 (漢字) :
- ④会社名 (かな) :
- ⑤部署名 :
- ⑥役職名 :
- ⑦住所 [勤務先可] :
- ⑧お電話番号 :
- ⑨Emailアドレス :
- ⑩意見交換会 (参加・不参加) :
- ⑪今後の関連イベント案内の送付 (可・不可) :

※当日はご面倒ですが、申込み控え (E-mailの申込みプリント) をご持参ください。

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。

※定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

※意見交換会会費については、当日徴収させていただきます。

■お申し込み・お問合せ先

CCSワークショップ2014事務局

E-mail : ccs2014@rite.or.jp TEL : 06-6372-3053

開催趣旨

二酸化炭素の排出削減策の実行可能なオプションとしてCCSは注目されており、世界では10件を超える大規模プロジェクトが実施されるようになってきました。CCSのさらなる普及と商用化を見据えると、CCS実施の安全性を担保し、社会的信頼を得られるようにすることが重要です。

本ワークショップにおいては、米国、英国におけるCO₂貯留の環境影響評価に向けた先進的なプロジェクトを主導する専門家の方々にご講演いただくと共に、当機構からもCO₂貯留の安全性に関する取組みに焦点を当てて最新成果をご報告し、皆様との議論の機会を提供したいと考えています。

プログラム

モデレーター 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻
教授 佐藤 徹

(敬称略)

時間	項目	演題(仮)	講演者名
(12:30-)		(受付開始)	
13:15-13:20	開会 挨拶		山地 憲治 RITE理事・研究所長
13:20-13:25	共催者 挨拶		永澤 剛 経済産業省 地球環境連携室 室長
13:25-13:30	趣旨 説明		佐藤 徹 東京大学大学院教授
13:30-13:50	講演1	CO ₂ 移行解析技術開発について	喜田 潤 RITE CO ₂ 貯留研究グループ 主任研究員
13:50-14:50	講演2	The ZERT on-shore controlled release, lessons learned about monitoring methods, impacts and detection limits. ZERTプロジェクト: 陸域の人為的CO ₂ 漏出実験によるモニタリング手法および検出限界と生態系影響について	Lee Spangler Director, Energy Research Institute, Montana State University, USA
14:50-15:10		(コーヒーブレイク & ポスターセッション)	
15:10-16:10	講演3	The QICS Project. Outcomes and implications for the development of CCS QICSプロジェクト-成果とCCS開発におけるその意味	Jeremy Blackford Project Leader, QICS Project, Plymouth Marine Laboratory, UK
16:10-16:55	講演4	漏出シナリオに基づく海中CO ₂ 拡散シミュレーション技術開発	内本圭亮・中島崇弘 RITE CO ₂ 貯留研究グループ 主任研究員
16:55-17:05	総括		佐藤 徹 東京大学大学院教授
17:05-17:10	閉会 挨拶		本庄 孝志 RITE 専務理事
17:30-(予定)		意見交換会(会費制)	

※講演者名、演題、講演時間等は変更になる場合があります。